平成25年４月５日

各　位

会 社 名　ネ　オ　ス　株　式　会　社
代表者名　代表取締役社長　池　田　昌　史
（コード番号：３６２７　東証第１部）
問合せ先　取締役兼執行役員 企画部長　中　野　隆　司
（TEL．03－5209－1590）

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24 年７月13日に公表いたしました平成25年２月期（平成24年３月１日～平成25年２月28日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、平成25年２月期第４四半期において計上することとなった特別損失について併せてお知らせいたします。

記

1．業績予想の修正について

平成25年２月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	6,650	600	600	30	386　48
今回修正予想（B）	6,615	318	365	△84	△1,082　65
増減額（B－A）	△34	△281	△234	△114	－
増減率（%）	△0.5	△47.0	△39.0	－	－
（ご参考）前期実績（平成24年２月期）	6,037	536	534	207	2,698　79

2．修正の理由

携帯電話市場においては、スマートフォンの本格的な普及により、フィーチャーフォン市場の急速な縮小が起こっており、端末市場のみならずサービス市場においても、予想以上の速度でマーケットが減少しております。

このような状況に対応し、当社は、スマートフォン向けのプロダクト＆サービス事業拡大のスピードアップを図っており、アプリを中心に多くの新しいプロダクト＆サービスの投入を実践する中で、売上高の面では、フィーチャーフォン事業の落ち込みを補い、全体としてはほぼ当初の予測値通り、前年に対し増収となる見込みです。

しかしながら、これら個々のスマートフォン向けプロダクト＆サービスは、未だ成長途上にあり、平成25年２月期通期においては、当初予測していた、全体としてフィーチャーフォンに取って替わる利益水準に到

達するという見通しには、至らない状況にあります。
　また、これらスマートフォン向けプロダクト＆サービス事業の拡大加速に向け、研究開発費及び事業開発費の投入、コンシューマサービスにおけるユーザー獲得のための販促費の投下等を推進しており、当初の予測に比べ、販売費及び一般管理費が増加する見込みとなっております。
　以上の要因により、営業利益、経常利益の予想数値を修正いたします。また、当期純利益に関しましては、経常利益の見直しに加えて、今回発生した特別損失（下記「3.特別損失の発生について」参照）の計上により、予想数値を修正するものです。

3.　特別損失の発生について
　平成25年２月期第４四半期連結会計期間において、ソフトウェア資産の減損、及び投資有価証券の評価損等の発生により、合計105百万円の特別損失を計上いたします。その主な内容としましては、将来収益の見込めないサービスの中止に伴うソフトウェア資産の減損処理による損失99百万円を計上すること、及び当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて、減損処理による投資有価証券評価損5百万円を計上することによるものであります。

　なお、配当予測につきましては、１株あたり 450 円からの変更はありません。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上